

ご担当先生へ

平素より兵庫県立がんセンターの診療にご協力いただきありがとうございます。

次世代シーケンサーという遺伝子解析技術の発展により数百個の遺伝子を一度に調べることが可能となりました。遺伝子変異に基づいて治療薬も選択されるようになったことも相まって、治療法の選択においてがん細胞の遺伝子を調べることの意義が高まっています。このように網羅的にがん細胞の遺伝子を調べることを**がん遺伝子パネル検査**と呼び、患者さんにとって有効な治療法の情報が得ることを目的とするものです。

本検査の概要は以下の通りです。

- 原発不明がん、希少がん、標準治療に抵抗性となった固形がん（原則20歳以上）を対象としています。
- がんゲノム医療外来39,000円（税込）
検査費用はオンコプライム検査957,000円で自費診療です。
- 検査にはホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）標本を使用しますので
 - ① **標本ブロック**
 - ② **同部位のHE標本**をご準備の上、外来受診予約日までに当院に送付ください。（次頁「ご提供いただく遺伝子パネル検査用検体について」をご参照ください）
- 検査後の治療費は含まれておらず、適応外の薬剤を用いる場合には、通常高額な薬剤費を含めた医療費が必要となります。
- 標本発送時に貴院での病理診断結果・検体情報チェックリストを送付して下さい。
- 検査後の治療に関して、該当する治験等が無い場合は、原則紹介医にお願いしております。
- 検査結果通知の準備が整うまで約1ヵ月半かかります。特に標準治療に抵抗性となった患者さんは予後が厳しいケースも多いため、この点についても十分ご留意下さい。

以上、ご了承の上、がんゲノム医療外来の申し込みをされる場合は

- ① **がんゲノム医療外来予約申込書**
- ② **診療情報提供書**

（同封しております。いずれも当センターホームページURL：<https://hyogo-cc.jp>よりダウンロードできます）をご準備の上、**兵庫県立がんセンター 地域医療連携室**（FAX番号078-926-5410）を介してお手続きください。

問い合わせ先 **兵庫県立がんセンター がん相談支援センター** 電話：078-929-1151（平日9時～16時）

ご提供いただくがん遺伝子パネル検査用検体について

遺伝子パネル検査のために以下のもの（両方）をお送りください。

- ホルマリン固定パラフィン包埋の**標本ブロック**
- 同部位の**HE標本1枚**

（お願い）

- ① 切り出しは腫瘍細胞がなるべく多く含まれている部位を選択して下さい。
(腫瘍細胞含有率20%以上。可能ならば50%以上)
- ① 中性緩衝ホルマリン以外のホルマリン（緩衝作用のないホルマリン、酸性ホルマリン）で固定されたものやホルマリン固定時間が長いもの（48時間を超えるもの）や、古い検体（5年以上経過したもの）は核酸の状態が悪く、検査ができない可能性が高くなります。
- ① 当院にて必要量のスライド作成後、残りは返却させていただきます。
- ① ブロック標本のお貸出しが困難な場合は適宜ご連絡ください。
- ① 上記検体がない場合、新たに検体採取が可能な病変があれば、検査可能な場合があります。

検体の準備は紹介の先生方をお願いしております。ご準備が整いましたら、**患者さんのがんゲノム外来受診予約日まで**に

1. 病理診断書（コピーで結構です）
2. 検体情報チェックリスト（ホームページURL: <https://hyogo-cc.jp>よりダウンロードできます）
とともにご送付ください。

ご協力を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

<検体送付先>

兵庫県立がんセンター地域連携室 斎藤/福石 宛

住所：〒673-8558 明石市北王子町13-70

電話：078-929-1151